

児童の学びの保障へ向けた取組み 「どこでもスタディ」の推進

『どこでもスタディ』（通称：どこスタ）とは

様々な事情で学校に登校できない児童生徒が、自宅で授業に参加できるようにする等、子ども自身が必要に応じて学ぶ方法を選べるようにする横浜市教育委員会の取組みです。

1 取組みのねらい

本校では、誰一人取り残さず学びの機会を提供することを目指して、学校と家庭をつなぐ学習環境の構築を推進しています。

その一環として、さまざまな事情で学校に登校できない児童の学びを保障するための取組みである『どこでもスタディ』（通称：どこスタ）の内容をさらに充実させていきます。

2 内容

○提供する内容については、児童の意思や保護者の願いを尊重しながら決定していくこととします。

教科の内容に留まらず、担任とのメッセージのやり取りなどを通して、児童の気持ちを理解し、寄り添う支援もあわせて行っていきます。

○家庭の通信環境や端末環境も踏まえ、状況に応じて機器の貸出等の対応も行っています。

（提供できる内容 例）

○主に使用するアプリケーション

- ・ロイロノート・スクール（以下、ロイロ）
- ・Google Classroom（以下、Classroom）
- ・Google Meet（以下、Meet） など

	内容	児童の学びのイメージ
例 1	○授業内容に準じた課題、学習資料を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容に準じて、学校から課題や学習動画、授業写真（板書）等が、ロイロ・Classroom を通じて受け取る。 ・課題に取り組み、ロイロ・Classroom を用いて提出する。 ・質問でロイロ・Classroom のメッセージ機能や Meet を使用する。
例 2	○学力に合わせた補充プリント、学習資料を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロ・Classroom で小テストを解いて、提出する。 ・結果をもとに、学校から補充プリントと学習動画等を受け取る。 ・補充プリントに取り組み、ロイロ・Classroom を用いて提出する。 ・質問もロイロ・Classroom を使用してメッセージをやり取りする。
例 3	○オンラインでメッセージのやり取りを通して、担任との関係を作っていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にロイロや Meet で担任とつながり、授業内容にとどまらず、さまざまなやり取りを楽しむ。 ・毎朝ロイロでメッセージを送るなど、生活の中に習慣を作り、生活リズムを整える。

最適な支援の方法を検討していきます。